研究データ管理セルフラーニング教材

1. 目的

大学等研究機関において研究者の支援に関わる担当者が研究データ管理に関して理解しておくべき、知識・技術を修得する。

2. 到達目標

- 「研究データ管理サービスの設計と実践[2022 年度版]」コース
  研究支援職員が研究者の研究プロセスに沿って、研究データ管理サービスの設計と実践方法を理解できるようになる。
- 「研究者のための研究データマネジメント[2022 年度版]」コース
  研究者自身が研究データ管理について必要な知識を得、また、研究支援者が、各機関の研究環境やニーズに応じた形で、研究データ管理サービスを提供することできるようになる。
- 「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」コース
  情報基盤スタッフが研究データ管理支援活動に必要な知識、技術を理解できるようになる。

3. 受講対象者

大学等研究機関における研究者、図書館員・URA・技術スタッフ等の研究支援者。

4. 受講の前提となる知識・技術

- パソコンの基本的な操作および文字入力を行うことができること。
- 国立情報学研究所の提供する学習管理システム「学認 LMS（※）」上での学習となる。

※　学認 LMS（https://lms.nii.ac.jp/）を利用するためには、国立情報学研究所に、機関としての利用申請が必要である。

5. 講習内容・教材

「研究データ管理サービスの設計と実践[2022 年度版]」コース「研究者のための研究データマネジメント[2022 年度版]」「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」コースの 3 コースがあり、それぞれ以下から構成される。

- 教材
- 理解度テスト

詳細は「研究データ管理セルフラーニング教材」ウェブサイトを参照のこと。
https://contents.nii.ac.jp/hrd/rdm

6. 到達度の確認

学認 LMS サイト掲載の理解度テストによる。
到達度の目安として、理解度テストの合格基準を目指す。

- 「研究データ管理サービスの設計と実践[2022 年度版]」コースの合格基準：70 点以上
- 「研究者のための研究データマネジメント[2022 年度版]」コースの合格基準：70 点以上
- 「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」コースの合格基準：70 点以上

7. 修了証書

学認 LMS サイト搭載の理解度テストの合格基準に達している場合、申請により修了証書を取得することができる。

詳細は上記ウェブサイトを参照のこと。